多文化関係学会　2022 年度第 4 回理事会議事録

日時：2023 年 3 月 12 日　10：00～11：00//12：00～12：50
会場：椙山女学園大学国際コミュニケーション学部 4 階 415 室
出席者：田崎、石井、申、叶、畠中、河野、小坂、内藤、小林、笠原、田中、渋谷
委任状：馬場、伊藤、江藤、矢元（宇治谷代理）
欠席：岡部　　（敬称略・順不同）

司会：田中　記録：渋谷

１．報告事項

（１）事務局

・4 月から公開予定で進めていた新しい会員専用サイトについては、現在最終確認の段階として、3 月中に動作確認をし、とりまとめた修正依頼する。

→新会員専用サイトの運用については、審議事項へ

(2) 財務

・今年度分の経費等の処理締め切り（3 月末日）が迫っているため、未処理の経費については忘れず手続きすること。

(3) 地区研究会

・関東地区研究会：2 月 4 日にハイブリッド方式で研究会を開催した。参加登録者は 31 名だったが、当日の参加は 25 名程度。

・中国・四国地区研究会：2 月 18 日にオンラインにて研究会を実施した。事前の参加登録者は 8 名だったが、当日は 5 名の参加となった。

・九州地区研究会：1 月 7 日にハイブリッド方式で研究会を開催した。当日の参加者は対面 6 名、オンラインが 4 名だった。

→オンラインは参加しやすい形態ではあるが、同時に当日不参加となりやすい点もある。開催の方法に関する工夫は今後の課題とする。

(4) 学会誌編集委員会

・第 19 巻の発送を終えたが、在外会員の発送先未確認状態にある 1 名分が保留となっている。

２．審議事項

(1)　事務局設置場所について（副会長：田中）

事務局の設置場所を 2023 年 10 月に現事務局長の研究室に移すこととし、それまでは現在の住所（東京未来大学モチベーション行動科学部田中研究室）を引き続き事務局として使用し、その間、田中真奈美先生を事務局員としたい旨の説明があり、承認された。

(2)　新会員専用サイトについて（事務局長：石井）

・5 月 1 日に正式に新サイトへ移行する（学会ウェブサイトにあるリンクを変更する）ことを目標として作業を進めることが了承された。

・2022 年度に組んだ予算は、そのまま 2023 年度に持ち越しとする。

・2023 年度会費納入については、新サイトに移行させてからとするため、会員には移行前に会費振込をしないようメーリングリストを通じて注意喚起を行う。ただし、新規入会については通常通り受付する。

　→年次大会の発表締切や学会誌論文審査までに会費納入が完了できる十分な告知・振込期間を確保するよう振込開始日を設定することとする。

・学会ウェブサイトと会員サイトの管理については、事務局と Web 管理・広報担当との間で確認する。

・会員検索機能を利用できる「管理者」は事務局内を想定しているが、その指定範囲を具体的にどのように設定するかは次期理事会での検討事項とする。

(3)　2021-22 年度新設の各委員会について（副会長：田中）

・Web サイト等リニューアル委員会：新たな会員専用サイトへの移行まで現委員が構成員となり継続することが承認された。なお、Web 管理・広報担当理事交代による引継ぎのため、現担当理事に加えて新担当理事も委員会に参加することが確認された。

・将来構想委員会・地区研究会連絡委員会・学術連絡委員会：今後については次期理事会での検討事項とする。

・大会運営委員会： 2023-24 年度は田中先生と申先生が常任委員となることが決まっているが、委員をあと数名追加で募ることにする。

(4)　日本学術会議協力学術研究団体への実態調査について（事務局長：石井）

アンケート回答作成について、過去の同アンケートへの回答を参考にしつつ、今期理事が担当する部分について速やかに記入協力することが確認された。

(5)　2023 年度年次大会について（大会運営委員長：小林）

・運営は大会運営委員会が行うが、常任委員と会場担当委員がどのように役割分担するかは今後検討する。会場担当委員を九州地区で今後募集する予定である。

・会場は、北九州国際会議場（https://hello-kitakyushu.or.jp/kokusai-kaigi/ 小倉駅北口徒歩 5 分）とする。※条件（参加者のべ 100 名以上、50 泊以上）を満たせば助成金制度がある。

・オンライン参加については、状況を見つつ今後検討する。

・開催日程は、会場が利用できる 9 月 8－10 日または 10 月 6－8 日の候補から、協議の結果、9 月 8－10 日と決定した。

・プレカンファレンス・総会・基調講演用に 200 人規模 1 室、研究発表用に 2－3 部屋、を用意する。

・抄録については、印刷はせず、電子ファイル化することが確認された。

・大会テーマや懇親会についてはこれから委員会内で検討する。

(6)　その他

・シニア会員から、“終身会員”のような制度導入の問い合わせがあった。現行の会員区分の再検討も含め、次期理事会で検討することとなった。

・学会誌バックナンバーの保管料金が年間 6 万円程度かかる一方で販売による売上は 3 万円程度にとどまっている状況を鑑み、バックナンバー在庫をどうするか、次期理事会で検討してほしい旨を申し送りとした。

・地区研究会の予算については、会則に定められたルールで計算されるため、新しい会員専用サイトによって地区研究会所属人数が明らかになったところで確定させることを確認した。

・学会活動資金安定のため、会費の値上げについて次期理事会で検討を始めることとする。

以上